



## 大地申第10号「平成31年3月ダイヤ改正等について」に関する 小金井運転区分会 申し入れ団体交渉開催！ 2月20日開催(議案要旨)

1、平平15行路の長時間拘束の改善と、平平23行路の明け場面の長時間連続乗務を解消すること。

会社回答) 行路の設定については、乗務割交番作成規程等に基づいて行っているところである。

会社：小金井運転区の乗務員の皆様のアイデアを頂いた。職場で持ち替えを行った。15行路は23時間14分から22時間02分に改善した。23行路は明け場面の乗務の長さを改善した。宇都宮～小金井～宇都宮～東京～小金井だった。行路そのものを入れ替えた。宿泊地を宇都宮から田端とした。明けを尾久からとして設定し改善が出来た。

組合：23行路の明けは出区して連結作業して宇都宮に戻って、そのまま東京に折り返してと明けとしては長時間乗務。更には行先地時間が少なすぎる。解消していただきたいが、今後もお願ひしたい。

会社：意見は理解できる。頂いた声を受け止めて勉強していく。

## 15行路・23行路の改善を確認！

2、女性寝室の設備が足らず勤務変更での対応が多く発生していることから、充分な女性寝室・設備を設置すること。

会社回答) 設備の整備等については、今後も必要に応じて検討していく考えである。

組合：この間の施策議論でもあるように、女性社員の配属にあたっては設備を整備してからという事が基本だ。

会社：小金井運転区は2018年3月に女性ロッカー拡大とそれに伴い寝室を増設した。(13室から14室へ)

組合：小山車両センターは3室で2行路、田端運転所2室で1行路。今後は拡大の考えがあるのか？

会社：現状では整備の計画はない。全ての区所で女性が配属できるように設備整備を行っていく。

組合：今後は将来の配属数などを見越した設備整備を行っていただきたい。

会社：女性の増加となっているが設備が後追いになっている。今後、小金井運転区は稼働壁で対応していくとを検討している。また、今後の拡大するところにおいても同じようなものを検討している。

組合：女性設備を作るときは実務を担う女性社員の意見を聞いていただきたい。

会社：設備の関係で声を聞く場を設ける計画はない。車座など様々な場で声は聞いていく。

組合：基地再編施策が予定されている。苦勞している女性社員の声をしっかり聞くべきだ。

会社：これまでなかなかうまくいっていないことは理解している。不満がないようにしていく。

3、乗務員が集中し休憩出来ない実態があることから、東京駅9・10番線乗務員詰所や大宮駅11番線詰所の拡大・設備改善をおこなうこと。

会社回答) 設備の整備等については、今後も必要に応じて検討していく考えである。

会社の認識) 東京駅詰所は今回10平米にも満たないが、詰所スペースを拡大した。東京支社からはこれ以上のスペース拡大は厳しいと言われている。椅子などの設備の改善をしていく。

・新型ソファアーの本格導入の情報が出来なかったのは反省点。今後に活かしていきたい。

・食事スペースの為にテーブルクロスを置いたが、目的に合った使用方法になっていないのであれば他社社にも伝えていく。

・大宮駅の11番線の要望は、「机が大きすぎるのではないか？」という声など含めて聞いている。

大宮運転区の管轄なのですぐにも対応が出来るのではないか？管理者にも伝えてほしい。

組合の主張) 次の乗務に備える環境になっていない実態である！しっかり職場の声を反映していただきたい！

# 安全・健康・ゆとり・働きたいを求めて職場から声をあげていこう！